

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年2月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105016
法人名	医療法人 浜友会
事業所名	グループホーム はまゆう
所在地	鹿児島県鹿児島市喜入町6976番地1 (電話) 099-345-0099
自己評価作成日	平成23年1月12日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年2月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

主治医が手品をして認知症の予防・楽しんでいる。
 小学校が隣にあり、子供たちの元気な声が聞こえてくる。散歩時の交流が楽しみ。急変時、同敷地内に医院があり対応。
 敷地内で取れる野菜が無農薬のため、安心しておいしく食べられる。
 地域の職員が多く、転職者がいない。
 職員に向上心があり、ケアマネ・介護福祉・他資格取得への挑戦や、日舞・フラダンス・コーラス・ハーモニカ等、ボランティア活動にも励んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・事業所と同じ敷地内に、母体医療機関やデイケアセンターが隣接しており、協力体制が万全である。
- ・近隣には消防署や駐在所・市役所支所・小学校等の公共施設があり、郵便局や銀行等や駅も近く、利便性に富んでいる。事業所の後方の小学校からは、児童の元気な声が聞こえてくる。
- ・設置者は地域の健康や福祉に対する思いが深く、住民からの信望が厚い。
- ・災害対策で、避難訓練や夜間想定防火訓練を家族や地域住民の協力のもと定期的実施している。全職員が、「救命講習」を受講し、応急手当を習得している。
- ・利用者は人生の先輩であるとの思いで敬意を払い、職員は、言葉かけや態度にも丁寧な配慮がなされている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	パンフレット・家族会・推進会議・職員会等で理念を唱和する。10時のお茶の時間に理念の唱和1日の流れを決める。	開設にあたり、職員間で事業所の理念を話し合い、独自の理念を作っている。理念をリビングに掲示したり、パンフレットに掲載している。申し送り時や職員会議等で唱和し、理念に基づき日々の支援につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の方々に呼びかけ、推進会議・消防訓練・敬老会等に参加して頂いている。地域の清掃や六月灯・花見・文化祭でも職員踊り・コーラス等参加。お花・野菜等も頂いている。	町内会に加入し、地域の清掃活動や地域の行事に積極的に参加している。近隣住民が花や野菜・果物等を持参するなど、地域と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	中学校生徒さんの体験学習。医院全体のいきいき教室に入居者・家族へ参加協力をお願いしている。災害・防火訓練にも地域の方・家族・推進委員の方々も参加協力実践している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的開催し、入居者の現状を知って頂き、災害時は避難援助協力をお願いしている。地域の情報交換の場となっている。(消防署・警察・自治会の方等)	運営推進会議は定期的開催し、事業所の現況報告や外部評価結果報告等を行い、参加者から活発な意見が出て、そこでの意見をサービスの向上につなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>選挙時の前日投票・非課税（インフルエンザ・おむつ申請等）手続き等。 情報調査後の事業計画について協力をお願いした。</p>	<p>市の担当者とは気軽に相談したり、事業所の実情の報告や市の介護相談員の受け入れもを行っている。地域包括支援センター職員は、毎回運営推進会議に参加し、共に支援に取り組んでいる。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>帰宅願望の強いときは、センサーを使用し、対応したり、マングース出現等の新聞記事の中玄関に張り、外に出る前に注意書きしている。点滴時は、職員が一人付き添うようにしている。</p>	<p>毎月の職員会議時やカンファレンス時に身体拘束廃止について話し合い、また法人母体で行われる安全対策会議に於いても話し合っている。地域での研修会等にも参加している。職員間で連携を取り合い、細心の注意を払い、日中の施錠はしていない。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止の研修参加・まず理念に基づき介護をさせて頂いている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>人権問題研修会・地域での研修会へも進んで参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居前にホーム内を案内し、説明・同意書を頂いている。定期的に主治医・家族・管理者・担当者交え、意向や問題点等を話し合っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>常日頃、入居者・家族の要望・相談を受け止めている。すぐ解決出来ることはその日の職員で、他は月1回の職員会議で入居者・家族要望等を話し合い検討している。</p>	<p>家族等の面会時に気軽に意見や要望を聞けるような雰囲気づくりに留意している。家族会や運営推進会議でも意見や要望を聞き、それらの意見を運営に反映させている。意見箱の設置もしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議・カンファレンス等で、意見を聞き会議記録に記載し、理事長からの意見も頂いている。</p>	<p>管理者は職員会議時等や個々に、要望や意見を聞く機会を設けている。収納庫や火災報知機の設置等、要望や提案を理事長と相談して、対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員が無理のないよう勤務調整を心がけている。職員同士での食事会や温泉等でストレス解消している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修や学校等で資格を得、仕事への意欲向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他のホームへ相談したり、慰問に行き交流している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人・家族と面談し、日常生活状況を把握したり、要望等を伺い、対応できるよう心がけている。時間を作り、訪問・傾聴している。（先輩として、親として考え対応する）		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人の状態や思いを理解できていない家族もいるので、よく話を伺っていき、的確な対応ができるように心がけている。（面会は家族の時間に合わせる）		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	主治医・本人・家族・利用しているサービスの担当者等も含め検討している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できることはして頂き、言葉使いや、態度・表情に気をつけている。一人ひとりに担当職員を置き、本人・家族の相談を受けやすくしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時に健康状態や日常生活・特記事項など、チェック表を見ながら説明報告している。遠方で面会が難しい方には、定期的に電話や手紙等で報告している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	デイケア利用者・外来リハビリ・墓参り等で友達や知人に会い対話を楽しまれている。またホームへも来家して頂いている。	利用者の殆どは地域で生まれ育った人達であり、地域の馴染みの人達や友人が気軽に立ち寄り、ホームでお茶を飲んだり、対話を楽しんでいる。谷山ふるさとまつりに出かけたり、家族で墓参りや馴染みの寿司屋等に出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者のその日の体調等を把握し、時々職員が介入しながら支援している。コミュニケーションが取れない方は、歌やゲームなど行い職員の支援が不可欠である。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院への面会や家族等の相談にも対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その日解決出来ることは、リーダーが中心となり対応する。毎月の職員会議・カンファレンス等で、健康状態や思いを共有し統一した介護・支援を行っている。	日頃の関わりの中で、利用者一人ひとりの表情や行動等から要望や意向を把握している。家族からの情報も参考にしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	以前利用していたサービス担当者や本人・家族・主治医からも情報を頂き、職員からの意見も反映させながら援助している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの心身状態を把握しながら、それぞれの機能を引き出し、趣味や娯楽に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族に日頃の状態を説明し、家族・本人の意見を聞き、カンファレンスで職員全体の意見交換を実践している。主治医からの意見も頂いている。	日常のチェック表を参考にし、本人から思いや意向を聞き、家族や主治医の意見を活かして定期的にケアプランを作成している。また状況に合わせてその都度作成している。3ヶ月・6ヶ月ごとのモニタリングを実施して、現状に即したプランになるように反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	月間表（チェック表）を、作成し日々の様子が観覧でき、職員間で情報を共有し介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 ニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に合わせ、要望など日頃から聞き、家族対応が困難であれば、職員での対応をできるだけ行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の文化祭・運動会・六月灯に参加したり、ボランティアの方と一緒に調理やゲーム、散歩したりなど、楽しめる時間を作っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期受診・必要時は家族に相談しながら専門医受診を行っている。家族同行職員同行を行い、情報交換・連携をとるようにしている。	家族や本人の希望により、かかりつけ医は事業所の母体である医療機関が多いが、病状によっては家族と相談し専門医受診を行っている。家族の付き添いが無理な時は職員が支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日市の関係機関と連携した情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホームに正看1人准看2人が勤務しており、入居者の状態をよく観察している。隣に医院もあり、他部所との連携もとれている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先に面会に行き、本人・家族・看護師さん等からの相談や、情報を頂いている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に、説明し同意書を頂く専門的治療が必要な時は、本人家族・主治医・ケアマネ・看護師・介護士・担当者等で話し合いを行っている。	「重度化した場合の対応に係わる指針について」の方針に家族から同意書を取り、家族等と十分に話し合いながら、その方針を共有し支援を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	毎月の安全対策委員会で、応急手当・AEDの使用方法等の勉強会を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>家族と共同で、火災や災害時の訓練（4/18）推進委員の方々、地域の方々・入居者・職員・他部所の方と訓練施行（11/17）</p>	<p>消防署の協力のもと、避難訓練や夜間想定防火訓練を地域住民や家族等の協力のもと、定期的に行っている。非常用の備品や食糧・飲料水の備蓄もある。全職員が「救命講習」を受講しており、応急手当を習得している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>Pトイレ使用時は、膝かけ等をかけたり、入口を閉めるなど配慮している。言葉使い・表情に気をつけながら声かけを行っている。又、理解して頂くために方言を使うときもある。</p>	<p>利用者は人生の先輩であるとの思いで敬意を払い、言葉かけや態度にも丁寧な配慮をしている。トイレ使用時は膝かけ等かけるなど細やかな対応をしている。またプライバシーを損ねないように配慮している。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>本人の行動や表情等を把握し、本人のペースに合わせる。状況観察を行い、職員が援助しながらできるだけ本人に決めて頂くようにしている。</p>			
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者のその日の体調・行動に合わせて、食事や行事等調整している。居室でお茶したり、読書をしたり入居者のペースに合わせる。</p>			
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>本人に選んで頂き、職員と一緒に考える。美容院も行きつけがあり、お願いしている。</p>			
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食器は自宅で使用した家庭的な陶器、食材の下ごしらえ・盛り付けなどは、職員と一緒にその方に応じてお願いしている。</p>	<p>利用者の力量に合わせて、食事の準備を職員と一緒にしている。テーブルにさりげなく花が飾られ、職員と楽しくおしゃべりをしながら一緒に食事をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとり、主食・副菜を分けて記録。必要な方には水分量も時間・量・種類を細かく記録している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	状況に応じて、毎食後うがい・歯磨きを行って頂き、その後職員が援助している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中はトイレ使用を心がけている。できる限り、布パンツに尿とりパット・ナプキン使用で尿意の感覚を忘れないよう、また湿疹等の予防を行っている。	入居者一人ひとりの排泄パターンを全職員が把握し、トイレ誘導を行い、布パンツ・パット類も本人の状況に合わせて使用するなど、排泄の自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	敷地内で取れる野菜を多く食材に使用している。排泄パターン水分・食事・運動の状態をチェックし対応している。必要に応じて、運動の時間を作ったり主治医相談・指示を頂く。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人の希望に合わせ、いつでも入浴できるようにしている。浴槽にバラの花を浮かせたり、ゆず湯にしたり楽しんでいる。	基本的に入浴日は決めているが、本人の希望に合わせて、いつでも入浴できるようにしている。浴槽に香り漂う花を浮かべたりして、楽しく入浴できるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者の好む明るさや、室温、寝る向き等に注意している。 (音楽を聴きながらテレビを見ながら寝る方もいる。)		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書は、カルテに貼り、薬は5回確認に努めている。内服変更や指示は、業務日誌にも記載し、職員で把握する。飲み終わるまで職員が確認する。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人のできる事喜びを把握し、職員と一緒にやっている。褒めたり、感謝の言葉を伝えると、また頑張ってもらえる。 (調理・ドライブ・墓参り・作品作り・お茶会など)		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	入居者の重症化もあり、以前より外出の機会が減っているが、花見やドライブ・散歩・地域行事など参加するようにしている。	天気の良い日は、敷地内の散歩を行っている。季節ごとに花見や動物公園へのドライブ・地域の行事等にも参加し、家族の協力を得ながら支援している	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金と財布を持つことで安心される入居者には持って頂いている。本人が支払いされる方もいる。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	携帯電話を使用している方もいる。手紙は代筆し、名前は入居者に書いて頂いている。（年賀状など）		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やリビング・居室に季節の花を飾ったり、家族が花を持参し飾って下さったりしている。	共用空間の玄関やリビングには、手作りの壁飾りや季節の花が飾られている。空気清浄器が設置され、清潔で、天窓から柔らかい光が差し込むように工夫し、居心地良く過ごせる配慮がなされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングに畳の間があり、腰かけたり寝ころんだりしている。一人になりたい時は居室へ。時々畳の間で、洗濯物をたたんだり、写真・新聞を見て会話されている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時入居後も、本人が安心して我が家にいるよう、使用していた、湯呑・布団・家族写真・テーブル・仏壇等家族と相談して持ち込んで頂いている。</p>	<p>家庭で使い慣れた家具類が持ち込まれており、家族の写真や仏壇・遺影などが置かれ、必要な場所に手すりが設置してあり、居心地良く過ごせるような工夫がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物全体に手すりをつけ、一人ひとりの体調・機能を把握し介護を行っている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない